



# WORK STYLES 202X



okamura

# 私たちにとって

## 「ちょうどいい」オフィスってなんだろう

働き方はどこまで変わったでしょうか。

いつでもどこでも働けるという考え方は、確実に世の中へ浸透してきています。

しかし、まだまだ十分に機能しているとは言いきれないのではないのでしょうか。

その実現のために必要なこと、それは働くための環境づくり。

時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を実現するための

多様性に富んだ空間づくりが必要だと私たちオカムラは考えます。

### Contents

3 STYLES

5 VISION

7 MAKING

---

9 ベース

13 BUSHITSU

17 アジャイルエリア

19 パークワークエリア

21 集中エリア

25 カフェエリア

29 ミーティングエリア

33 共創エリア

37 ワークラウンジ

38 収納・共用エリア

39 ホーム

41 アラウンドプレイス

---

43 Work×D

44 COORDINATE



# STYLES

## さまざまなワークスタイル

### あなたの働き方は どんなスタイルですか？

かつて、オフィスレイアウトは固定されており、与えられた自席で業務をすることが当たり前でした。

その後、モバイルの普及により、オフィス内の自由な席で仕事を行うフリーアドレスが出現。

そして現在、オフィス以外で働くことも含め、より多様な空間を状況に応じて使い分けるABW (Activity Based Working) という考え方が世界的に広まってきています。

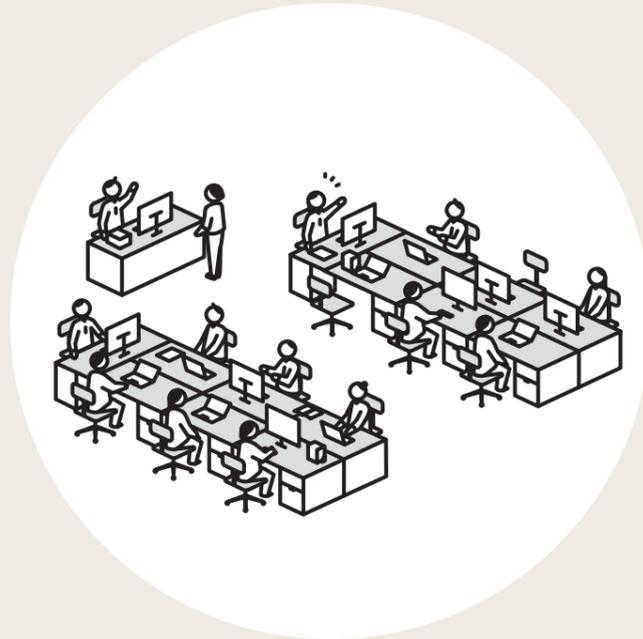
#### Around Place

アラウンドプレイスはワーカーそれぞれの本拠地(センターオフィス)と自宅(ホーム)以外の働く場の総称です。オフィスに近いものとしては、会社が契約するシェアオフィス。自宅に近いものとしてはマンションの共用部などの働く場などが該当します。

また、コワーキングスペース、空港や駅の一角、カフェ、図書館など、幅広い働く場もここに含まれます。

#### 固定席

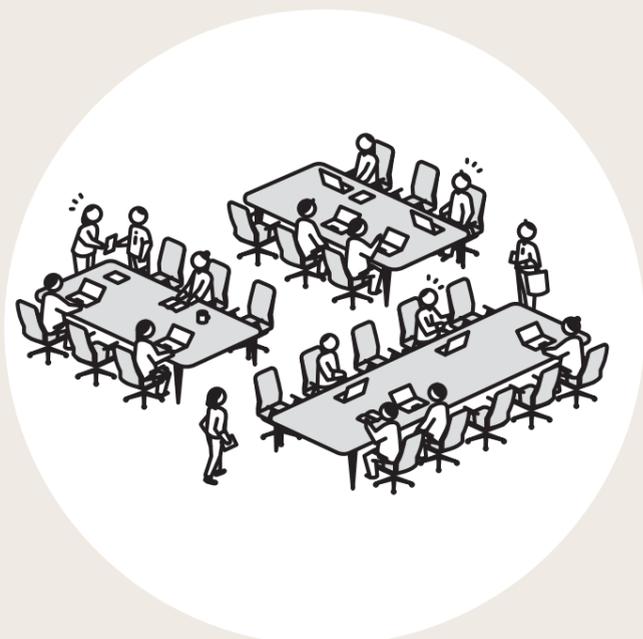
自分の席で働く



一人ひとりが決められた席で仕事をするスタイルのこと。在席率の高い職種に向いているオフィスの作り方です。

#### フリーアドレス

オフィスの中で自由な席で働く



ワーカーの固定席を作らずにオフィス内の自由な席で仕事を行えるスタイルのこと。席を固定しないことにより、オフィスの面積を抑えコスト削減、コミュニケーションの活性化やペーパーレス化が期待できます。

#### ABW (Activity Based Working)

最適な場所を選んで働く



オフィスの中でも外でも仕事の内容や目的に合わせて働く場所を選択するスタイルのこと。オフィス内に限らず、自宅や、カフェ、移動中など、仕事に最適な環境を選ぶことができます。

# VISION

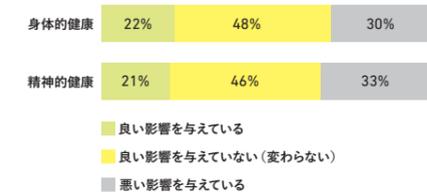
## 一緒に集まって働く理由が求められる時代に、「癒し」と「熱気」を

オフィスには、安全・安心に過ごせる快適さという「癒し」と、互いの意見を交わし合う「熱気」の2つが備わっていることが大切です。

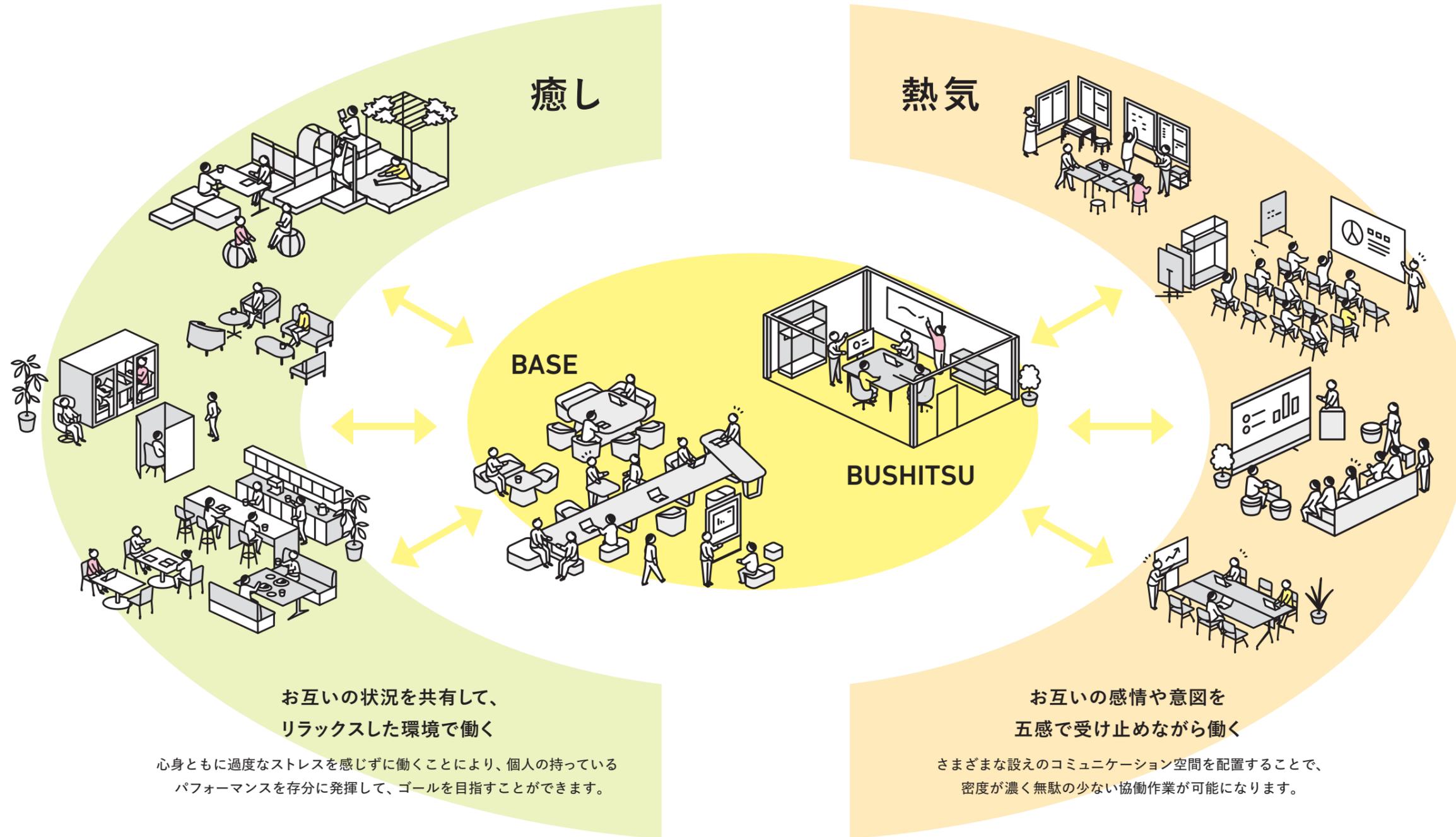
離れていても仕事ができる時代において、お互いを認め合ったり、お互いの良さを引き出したりするためにはリアルに集まって仕事をすることが欠かせません。

オカムラはオフィスの中に落ち着いて自分を開放することができる空間を作り、互いへの気づきが自然と起こる環境を実現するとともに、チームの活動を支援し、目標達成に向かって協力し合える環境をご提案します。

### コロナ禍の長期化が心身に影響を与えているか



出典：コロナ禍での働き方・働く環境の変化に関する調査（2021年オカムラ調べ）



**お互いの状況を共有して、リラックスした環境で働く**  
心身ともに過度なストレスを感じずに働くことにより、個人の持っているパフォーマンスを存分に発揮して、ゴールを目指すことができます。

**お互いの感情や意図を五感で受け止めながら働く**  
さまざまな設えのコミュニケーション空間を配置することで、密度が濃く無駄の少ない協働作業が可能になります。

### 働くの行為



働くときの行為を16個に分類しました。働く場をつくる際に、これらの行為が行われる場を設けることが重要です。

### 仕事の質への悪影響要因



出典：コロナ禍での働き方・働く環境の変化に関する調査（2021年オカムラ調べ）

# MAKING

## 高いパフォーマンスを実現するためのオフィス空間

いま、ワーカーの置かれる状況は多様になり、仕事の内容も多様になっています。そのような中で“働く環境”のつくり方に唯一の答えはありません。

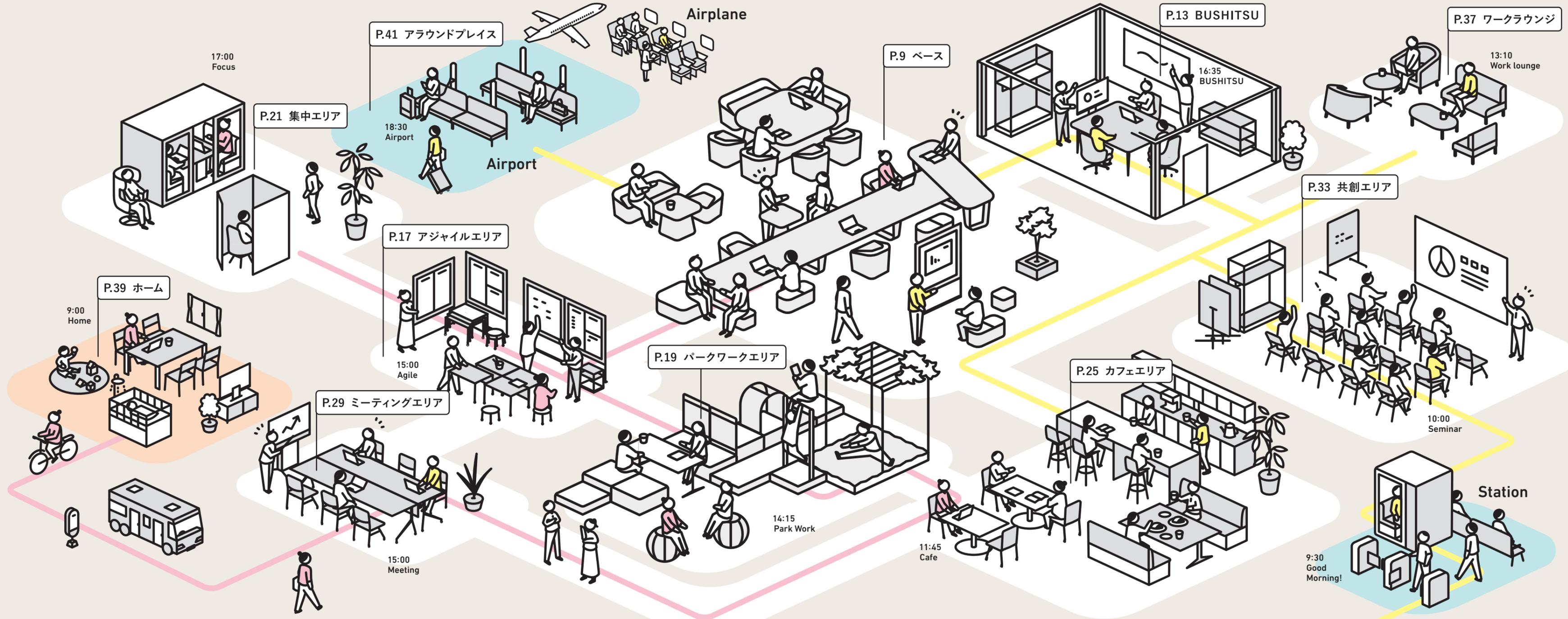
カフェでは会話をを楽しむ人も、読書をする人も、集中して仕事をする人もいます。同じように、働く場所をつくる時にも、同僚と一緒にアイデアを練ったり、一人で作業をしたりと多様な行為を受け入れられるような環境を整えることが大切です。

一つの場所にこだわらない、一つの行為に限らない、多様な働き方を実践してみたいかがでしょうか。オカムラでは、ワーカーの活動をサポートするための多様な空間をご提案します。

オカムラの新しいデジタルトランスフォーメーションサービス

### 「Work x D (ワーク・バイ・デイ)」

これまで以上に便利な働き方を実現する、「はたらく」のデジタルトランスフォーメーションサービスです。詳しくはP43へ



# ベース

## 個人業務の中心地

執務の中心となる場で、事務処理やメールのチェックなど毎日行う定例業務に最適です。個人で業務をしつつ、必要があれば周りに声をかけて確認したり、ちょっとした相談も行えます。

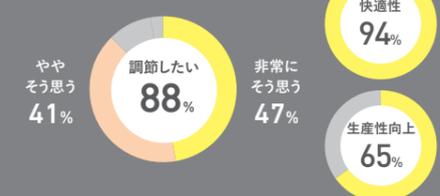


### 自席の環境を自由に調節したい

仕事を行う自席の環境を自らの手で調節することを望んでいるか否かを調査したところ、「調節したい」と答える人が9割近くを占めることがわかりました。調節することによる効果を聞くと、9割を超える人が「快適性」と答え、3人に2人は「生産性向上」を期待していました。

自席の環境を調節できることによって期待する効果は？

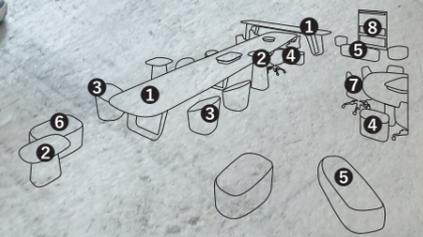
自席のまわりの環境を自由に調節したいですか？



出典：2004年オカムラ調べ



# BASE



1. WORK CARRIER (ワークキャリアー) アンカーテーブル
2. WORK CARRIER (ワークキャリアー) サテライトテーブル
3. WORK CARRIER (ワークキャリアー) ソファ
4. WORK CARRIER (ワークキャリアー) ワゴン
5. WORK CARRIER (ワークキャリアー) ワークスツール
6. WORK CARRIER (ワークキャリアー) ベンチスツール
7. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)
8. SPRINT (スプリント)



# ベース

個人業務の中心地

「1人1席で個人のスペースを明確にわけて使える」単体デスク



- 1. mode (モード)
- 2. SOLISTE (ソリスト)

「立ち姿勢を取り入れ、健康的に働ける」上下昇降デスク

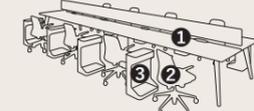


- 1. Swift (スイフト)
- 2. Choral (コーラル)

「人数の増減に対応しやすく、フリーアドレスに最適」ベンチデスク



- 1. Finora (フィノラ)
- 2. PRECEDE (プリシード)



- 1. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル)
- 2. Lives Entry Chair (ライブス エントリーチェア)
- 3. Lives Wagon (ライブス ワゴン)

「天板傾斜で最適な姿勢で働ける」チルトデスク



- 1. REGAS (リーガス)
- 2. Finora (フィノラ)
- 3. 上下昇降デスク用ワゴン
- 4. Lives Shelf (ライブスシェルフ)

「くつろぎながらも動きやすい」パーソナルテーブル&ソファ

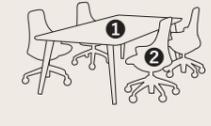


- 1. Lives Unit Sofa (ライブス ユニットソファ)
- 2. Lives Personal Table (ライブス パーソナルテーブル)

「レイアウト変更をしやすい」テーブルデスク



- 1. CYNARA (シナーラ)
- 2. Aption Free 2 (アプションフリー-2)
- 3. Lives Personal Chair (ライブスパーソナルチェア)
- 4. Lives Unit Sofa (ライブスユニットソファ)

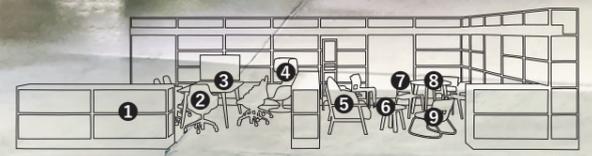


- 1. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル)
- 2. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)

# BASE



# BUSHITSU



1. Lives Shelf (ライブス シェルフ) 2. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア) 3. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル)  
 4. Lives Personal Chair (ライブス パーソナルチェア) 5. 6. SharedSpace (シェアードスペース)  
 7. JUNO (ジュノ) 8. San Siro (サンシーロ) 9. Lives Lounge Chair (ライブス ラウンジチェア)

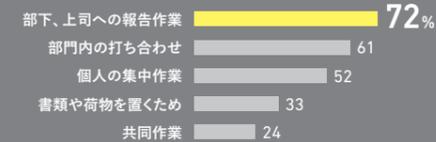
# BUSHITSU

## チームの拠り所

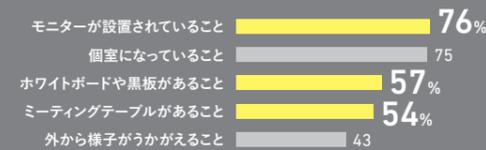
チームの一体感を高める“BUSHITSU”は、チームのメンバーが気軽に立ち寄り、交流できる場です。時間と場所の制約がなく、柔軟に働ける時代だからこそ、チームの拠点となる場所は必要不可欠。チームの目指す姿に合わせて、オリジナリティ溢れる“BUSHITSU”を作ることで、より強い「仲間」意識が育まれます。



## 部室はなんのために使う？



## 部室に欠かせないものは？



出典：2019年オカムラ調べ

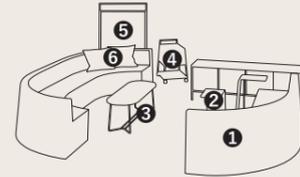
部室は、目指すチームのあり方によって「オープン/セミクローズ/クローズ」、「コミュニケーション重視/作業効率重視」で特徴づけられる6つのタイプに分類できます。一人ひとりの働き方が柔軟になる中、チーム力を高めるうえで、部室のようにメンバーが直接顔を合わせて働く場に大きな価値があると考えられます。

## オープン

### TYPE 1

## PARK

チームだけでなく、まわりからも気軽に意見をもらえるような開放的な雰囲気



1. 2. Alt Piazza (アルトピアッツァ)
3. Lives Café Table (ライブス カフェテーブル)
4. 5. GO-DO (ゴド)
6. クッション

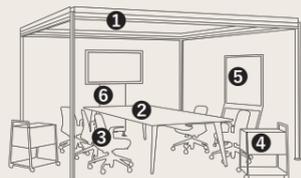
コミュニケーション重視

作業効率重視

### TYPE 2

## GYM

周囲から意見をもらいつつ、作業する個人どうしがお互いに刺激し合える雰囲気



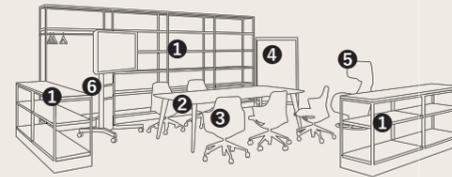
1. Glicina (グリシーナ)
2. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル)
3. Lives Entry Chair (ライブス エントリーチェア)
4. 5. GO-DO (ゴド)
6. モニタースタンド

## セミクローズ

### TYPE 3

## MARKET

クイックに意見交換できる、アイデアを展開できる雰囲気



1. Lives Shelf (ライブス シェルフ)
2. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル)
3. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)
4. CREBO (クレボ)
5. Lives Personal Chair (ライブス パーソナルチェア)
6. モニタースタンド

### TYPE 4

## GARAGE

一緒に手を動かして意見をやり取りできる、ワクワクする雰囲気



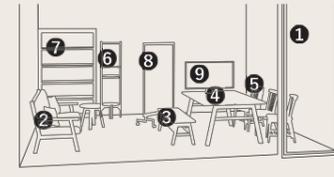
1. muffle (マッフル)
2. Acti@fit (アクティアフィット)
3. CREBO (クレボ)
4. Lives Entry Chair (ライブス エントリーチェア)
5. Swift (スイフト)
6. ディスプレイユニット
7. GO-DO (ゴド)

## クローズ

### TYPE 5

## NEST

秘密基地のように、斬新なアイデアを育てていく遊び心に富んだ雰囲気

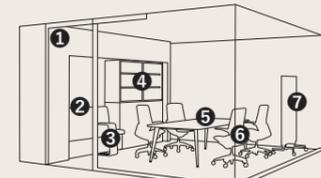


1. PROSSIMO (プロッシモ) 間仕切り
- 2~6. SharedSpace (シェアードスペース)
7. BRIO (ブリオ)
8. CREBO (クレボ)
9. ディスプレイユニット

### TYPE 6

## CAVE

目標に向けて一丸となるために、外部と意図的に遮断された雰囲気



1. PROSSIMO (プロッシモ) 間仕切り
2. Bresta (プレスタ)
3. Alt Piazza (アルトピアッツァ)
4. Rectline (レクトライン)
5. Lives Work Table (ライブスワークテーブル)
6. Finora (フィノラ)
7. CREBO (クレボ)



情報共有にホワイトボードや黒板を。長期のプロジェクトに必要な情報は書いたまま残しておけます。



個人での集中作業や、同僚との共同作業もできるようにミーティングテーブルがあると便利です。



モニターがあれば直ぐにチームでの話し合いを始められます。



チームの収納をBUSHITSU内に置くことで、より共有資料や機材を見つけやすくなります。

# アジャイルエリア

チーム作業を加速させる

チーム作業のスピードを高めてより成果の高いものをアウトプットをする場です。

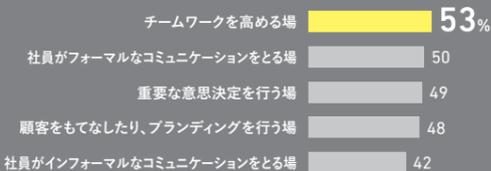
チームでアイデアを磨き、具現化し、試すサイクルを素早く回すことでより質の高い成果を生み出すことができます。行う作業に合わせて使いやすく家具のレイアウトを変化させることでより効率的に作業ができます。



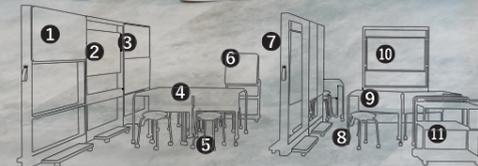
## オフィスでのチームワークの必要性

ワーカーにニューノーマルにおいてオフィスはどのような役割が求められるようになるか聞いたところ、「チームワークを高める場」と答えた人がトップになりました。次いで「社員がフォーマルなコミュニケーションをとる場」となっており、複数人数での行為の受け皿としての役割が重要になることがわかります。

ニューノーマルにおいてオフィスはどのような場としての役割が求められるようになるか



出典:WORKMILL RESEARCH ISSUE 02



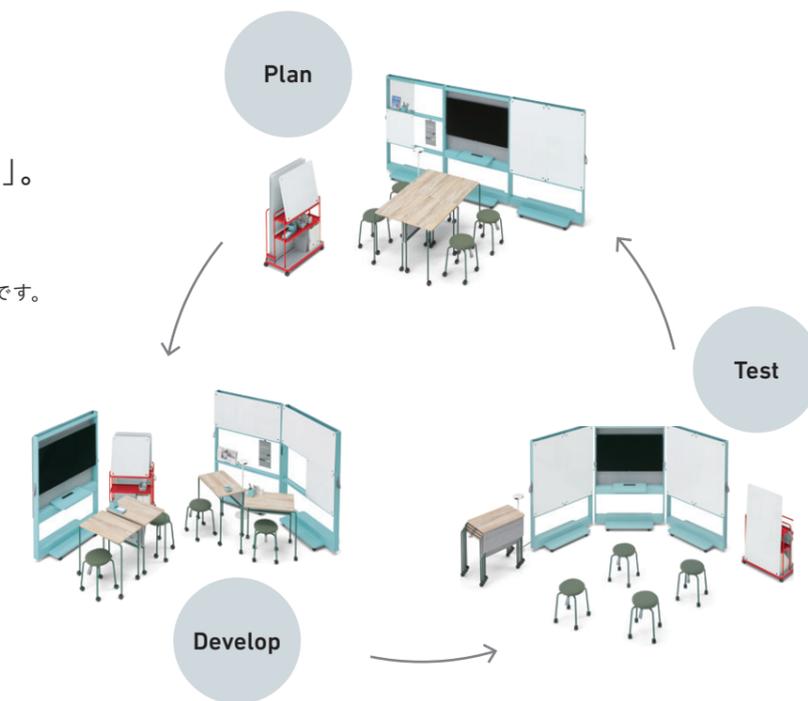
1. 3. 7. SPRINT (スプリント) ボードスタンド
2. 10. SPRINT (スプリント) モニタースタンド
4. 9. SPRINT (スプリント) テーブル
5. 8. SPRINT (スプリント) ツール
6. SPRINT (スプリント) チームワゴン
7. SPRINT (スプリント) ハンガースタンド
11. SPRINT (スプリント) ツールワゴン



# AGILE

## 働き方に合わせて、働く場を「選ぶ」のではなく、働く場を「創る」。

効率的に創造的な成果を生み出すためには、プロジェクトのフェーズに合わせてテーブルやチェア、ホワイトボードなどを自由に動かせることが重要です。一人ひとりのアイデアをぶつけ合うことで進化・強化させる「Plan」、実際にアイデアを具現化する「Develop」、みんなで試す「Test」で問題点を洗い出し、解決策を得る。そのプロセスをすばやく回すことで、最高のアウトプットを最速で実現する最強のチームが誕生するのです。



## チームを加速させる3つの要素

最高のアウトプットを最速で実現するチームをつくるためには、作業内容や参加人数に合わせて環境を最適化すること「Flexible」、思いついたアイデアをいち早く共有すること「Quick」、議論のプロセスを「見える化」して認識のズレを防ぐこと「Stock」が重要です。

### Flexible



目的に合わせて自由自在に移動

### Quick



アイデアを瞬時に表出

### Stock



ミーティングの内容をそのままストック

# パークワークエリア

健康的に働く

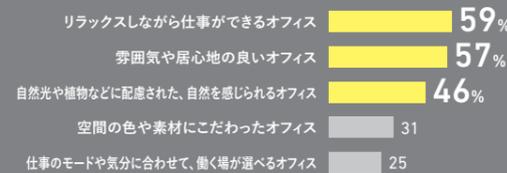
PARK WORKは「公園づくり」を意味します。多彩なアイテムの組み合わせによって健康を保持・増進する7つの行動を誘発するオリジナルの公園が完成します。「健康経営オフィス」を実現するには自分らしく健康的にふるまえる公園のような場所が必要ではないでしょうか。



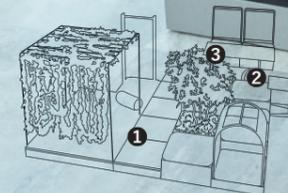
健康的に働くためには？

健康的に働くためには、半数以上のワーカーが「リラックスしながら仕事ができる」「雰囲気や居心地のよい」「自然を感じられる」オフィスで働きたいと回答しています。

「健康的」に働くために、どのような場で働きたいですか。



出典:WORKMILL RESEARCH ISSUE 02



1. PARK WORK (パークワーク)
2. Lives Personal Table (ライブスペーシャルテーブル)
3. Bresta (プレスタ)



# PARK WORK

「健康経営オフィス」とは

健康経営オフィスとは、健康を保持・増進する7つの行動を誘発することで、働く人の心身の調和と活力の向上を図り、一人ひとりがパフォーマンスを最大限に発揮できる場のことを言います。従業員の意思や努力だけに任せるのではなく、行動が誘発される環境を提供することが何よりも重要になります。



健康を保持・増進する7つの行動

参考資料:健康経営オフィスレポート/経済産業省

## パークワークでの過ごし方

パークワークは誰もが自由に過ごせる場所です。自分だけのお気に入りの場所を使ってもいいし、気分に合わせて場所を変えてもいい。一人ひとりが思いのままに、赴くままに過ごせます。

### Focus



- ひとりで集中作業する
- リラックスした姿勢で考えごとをする
- 広いスペースで自由に作業する …etc.

### Collaboration



- その場にいた人たちとおしゃべりする
- 自分の席では話にくいことを相談する
- 開放的な雰囲気の中でミーティングする …etc.

### Interval



- 身体を動かして気分を上げる
- 音楽を聴いて気持ちを切り替える
- 仮眠を取って身体を休める …etc.

# 集中エリア

没頭し専念する

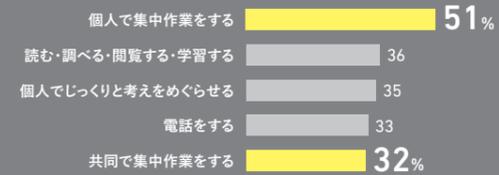
速さや正確性が求められる作業をしたい時や、誰にも邪魔されずじっくり考えに専念したい時に“籠れる場”があると嬉しい。しっかり遮音された空間ならば、機密情報・個人情報に関わる相談もできます。



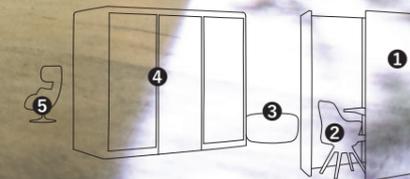
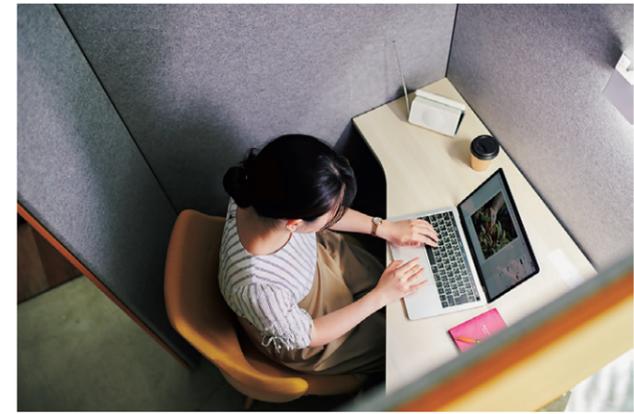
## 個人でもチームでも集中したい

仕事に合わせて社内外の様々なスペースを利用するワーカーを対象に調査したところ、個人・チームの両方において集中作業を求めていることがわかりました。

あなたの業務パフォーマンスを上げるために重要な活動は？



出典: WORKMILL RESEARCH ISSUE 01



1. drape (ドレープ) 2. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)  
3. Lives Pouf (ライブス ブーフ) 4. Snow Hut (スノーハット)  
5. Lives Personal Chair (ライブス パーソナルチェア)

# FOCUS

# 集中エリア

没頭し専念する

「周囲としっかり仕切って没頭できる」クローズタイプ

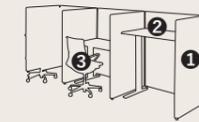


- 1. TELECUBE Bタイプ (テレキューブ) 1人用
- 2. SOLISTE (ソリスト)
- 3. mode (モード)

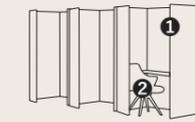


- 1. TELECUBE Aタイプ (テレキューブ) 4人用

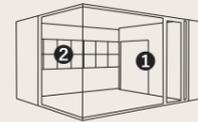
「周りの視線を遮り、ほどよい籠り感をつくる」オープンタイプ



- 1. muffle (マッフル)
- 2. Swift (スイフト)
- 3. mode (モード)



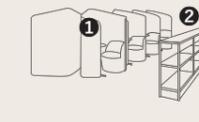
- 1. drape (ドレープ)
- 2. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)



- 1. PROSSIMO (プロッシモ) 間仕切り
- 2. GO-DO (ゴド) 吸音パネル



- 1. Snow Hut (スノーハット) 2人用
- 2. Snow Hut (スノーハット) 4人用
- 3. 4. Alt Piazza (アルトピアッツァ)



- 1. co-comori (ココモリ)
- 2. Lives Shelf (ライブスシェルフ)



- 1. Lives Personal Chair (ライブス パーソナルチェア)
- 2. Lives Personal Table (ライブス パーソナルテーブル)
- 3. Lives Panel (ライブス パネル)
- 4. Lives Wagon (ライブス ワゴン)

# カフェエリア

リラックスとコミュニケーションを促す

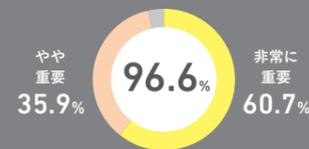
仕事の合間のコーヒーブレイクやランチ、  
くつろいだ雰囲気で作業したいワーカーに  
お勧めのエリアです。  
偶発的な出会いが生まれやすく、  
業務上では出会わないワーカー同士の  
コミュニケーションが始まるきっかけの場にもなります。



## インフォーマルなコミュニケーションが重要

予定していない出会いから発生する会話(インフォーマルコミュニケーション:IFC)が仕事を進める上で有効だと言われています。一般社団法人ニューオフィス推進協会の調査結果では、96.6%もの人がIFCを「重要」と認識しています。

仕事を進める上でのIFCの重要度は?

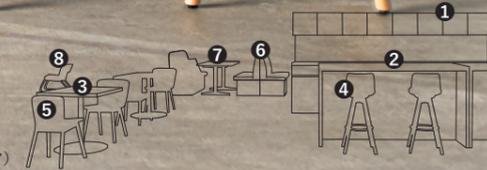


出典：コミュニケーション活性化のための機器・環境研究報告資料／一般社団法人ニューオフィス推進協会



# CAFE

- 1~3. Alt Piazza (アルトピアッツァ)
4. pirouette (ピルエット)
5. Lives Café Chair (ライブス カフェチェア)
- 6,7. Bresta (プレスタ)
8. Lives Lounge Chair(ライブス ラウンジチェア)



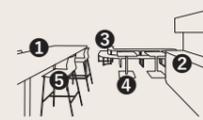
# カフェエリア

リラックスとコミュニケーションを促す

「オープンで気軽に立ち寄りたくなる」カウンターと、「収納として便利な」キャビネット



- 1. Lives Counter (ライブス カウンター)
- 2. melce (メルチェ)



- 1~4. Alt Piazza (アルトピアッツァ)
- 5. sweep (スイープ)

「居心地の良い空間づくりができる」テーブル&チェア



- 1. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)
- 2. Lunetta (ルネッタ)



- 1. Belleville Table (ベルヴィル テーブル)
- 2. Belleville Chair (ベルヴィル チェア)
- 3. Tabouret Haut (タブレウ)
- 4. Tip Ton (ティプトン)

「リラックスしてリフレッシュ。仕事にも息抜きにも使い勝手のいい」ソファ



- 1. Bresta (ブレスタ)
- 2. linkage (リンケージ)
- 3. Alt Piazza (アルトピアッツァ)



- 1. Lives Unit Sofa (ライブス ユニットソファ)
- 2. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)
- 3. Lives Café Chair (ライブス カフェチェア)



- 1. L401 テーブル
- 2. Lutz (ルッツ)



- 1. AltCafe (アルトカフェ)
- 2. linkage (リンケージ)

# CAFE

# ミーティングエリア

情報共有し意見を出し合う

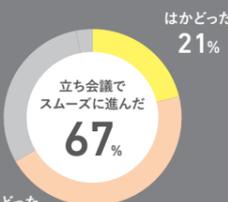
仕事を行う上で欠かせない情報共有や意見交換に必要なミーティングスペース。  
ミーティングと言っても、役員会議といったフォーマルなものから短時間のカジュアルなものまで様々です。  
目的に合わせた効率的な会議をするためには、立ち会議を取り入れたり、大型モニターやホワイトボードなどの情報共有ツールをうまく使いこなしましょう。



## 立ち会議で効率アップ

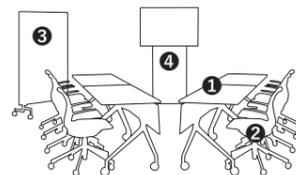
立ち会議室を利用するワーカーを対象に、会議のはかどり具合について評価を求めたところ、「はかどった」が全体の2/3を占め、座位姿勢の会議よりも「発言が活発」になると感じていました。

立ち会議の効果は？



ややはかどった  
46%

出典：2010年オカムラ調べ

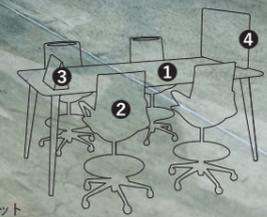


1. INTERACT NT (インターアクトNT)
2. Runa (ルナ)
3. CREBO (クレボ)
4. モニタースタンド



# MEETING

1. Lives Work Table (ライブスワークテーブル) ハイタイプ
2. mode (モード)
3. モバイルバッグ
4. ディスプレイユニット



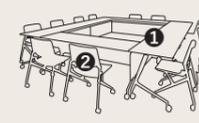
# ミーティングエリア

情報共有し意見を出し合う

「規模や目的に合わせて使える、自由度の高い」可動式テーブル&チェア



- 1. FLAPTOR (フラプター)
- 2. Runa (ルナ)



- 1. Marca (マルカ) テーブル
- 2. Marca (マルカ) チェア

「省スペースでのミーティングにちょうどいい」小型・中型テーブル



- 1. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)
- 2. Lives Nesting Chair (ライブス ネスティングチェア)
- 3. Lives Panel (ライブス パネル)



- 1. tresse-R (トレッセル)
- 2. simpure (シンピュア)

「大規模ミーティングに最適」大型テーブル



- 1. mode (モード)
- 2. traverse (トラヴァース)

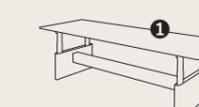


- 1. T-skill (ティースキル)
- 2. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)

「立ち姿勢だからできる短時間かつ効率的なミーティング」ハイテーブル



- 1. Swift (スイフト) ミーティングテーブル
- 2. pirouette (ピルエット)



- 1. Swift (スイフト) ミーティングテーブルワイドタイプ

# MEETING

# 共創エリア

社内外の交流と創造

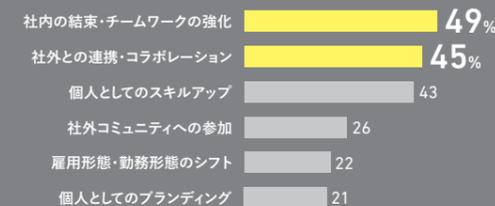
より良いアイデアを生み出すには自由な空気感が重要です。社外セミナーやイベントなどの外部コラボレーションの場としても、研修など社内グループワークの場としても利用できます。またイベントがない時には、社員のタッチダウンやミーティングエリアとしても多目的に使えます。



## 共創が必要と感じるワーカーが多い

「これからより良く働くために、今後どのようなことが必要になると思いますか?」という意識調査を実施したところ、社内のチームワークや社外コラボレーション等いわゆる他者との共創に関する項目を回答するワーカーが多くなりました。

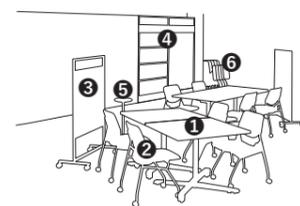
働くために今後必要になることは?



出典：2019年オカムラ調べ



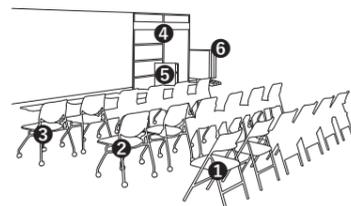
# WORKSHOP



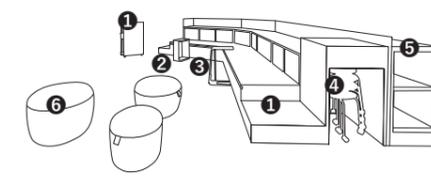
1. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)
2. Lives Nesting Chair (ライブス ネスティングチェア)
3. GO-DO (ゴド) ホワイトボード
4. Lives Shelf (ライブス シェルフ)
5. アクセスポール (コンセントアクセサリ)
6. Runa (ルナ)



# PRESENTATION



1. Lives Folding Chair (ライブス フォールディングチェア)
2. Lives Nesting Chair (ライブス ネスティングチェア)
3. Runa (ルナ) メモ台付
4. Lives Shelf (ライブス シェルフ)
5. GO-DO (ゴド) 演台
6. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)



1. Bresta (プレスタ) ステップベンチ
2. dock (ドック)
3. Alt Piazza (アルトピアッツァ)
4. SPRINT (スプリント) スツール
5. Lives Shelf (ライブスシェルフ)
6. Lives Pouf (ライブスプーフ)

# 共創エリア

社内外の交流と創造

「すっきり収納できてレイアウトを自由に変えられる」フラップテーブル&チェア



1. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)
2. Lives Nesting Chair (ライブス ネスティングチェア)
3. アクセスポール (コンセントアクセサリ)

「立ち姿勢もとれて自由に動かせる」上下昇降テーブル



1. Staffit II (スタフイットII)
2. Part (パート)



1. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)
2. Marca (マルカ)

「コミュニケーションが取りやすい」スイング機構付きチェア



1. Cradle (クレイドル)

「アイデア記録の定番」ホワイトボード



1. CREBO (クレボ) ホワイトボード
2. Acti@fit (アクティアフィット) ホワイトボード
3. Acti@Fellow (アクティア フェロー)
4. SALITRO (サリトロ)

「人の集える場を構築する」ステップベンチ



1. Bresta (プレスタ) ステップベンチ
2. Lives Pouf (ライブプーフ)

「作業場所への電源供給をスマートに」パワーソリューション



1. アクセスポール (コンセントアクセサリ)
2. 8177テーブル
3. Lives Nesting Chair (ライブス ネスティングチェア)

「用途に応じて空間を自由に仕切れる」移動間仕切り



1. CARRERA (キャレラ) 軽量移動間仕切り

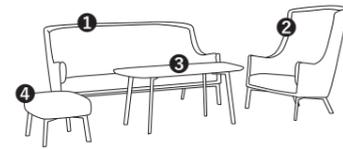


1. CARRERA (キャレラ) 軽量移動間仕切り

## ワークラウンジ

ゆったりと落ち着いた空間

上質感が漂う落ち着いた空間でくつろぎながら働くことで、いつもとは違うコミュニケーションや発想が生まれます。



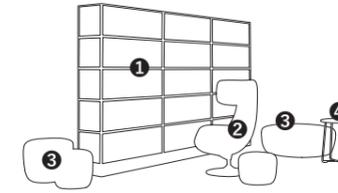
# WORK LOUNGE

1~4. Cheril (シェリル)

## 収納・共用エリア

個人やチームの共有物を保管する

ただ仕舞うための収納ではなく、空間の仕切りや作業台としても使える収納にすることで空間を効率的に活用できます。



# STORAGE

1. Lives Shelf (ライブス シェルフ) 2. Lives Personal Chair (ライブス パーソナルチェア) 3. Lives Pouf (ライブス プーフ) 4. Lives Café Table (ライブス カフェテーブル)

「肩の力を抜いて仕事や打ち合わせができる」ラウンジ



NAGARE (ナガレ)



LUXSYS (ラグシス)



vitra (ヴィトラ)

「個人の荷物を保管する」モバイル収納



Pixline (ピクスライン)

「共有物を効率良く保管する」移動棚



Sonic Saver+G (ソニックセイバー+G)

「身だしなみを整える」パウダールーム



Respia (レスピア)

# ホーム

自分の時間を大切に働く

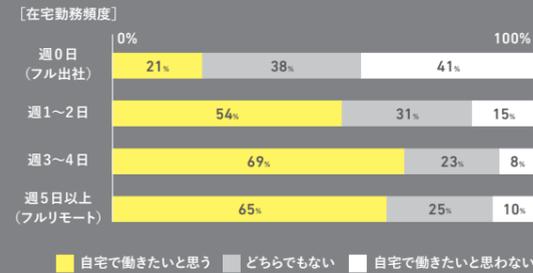
自宅の中でも、リビング、ダイニング、書斎など働く場所は様々です。普段生活する場だからこそ、ワークライフバランスを意識して、自分らしく効率的に働ける環境が求められます。



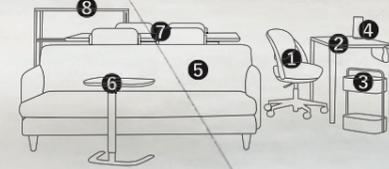
## 在宅勤務に対するワーカーの願い

在宅勤務頻度別に750名ずつ計3000名のワーカーを対象とし、今後も在宅勤務をしたいかを聞いてみました。すでに在宅勤務をしている人の半数以上は「自宅で働きたいと思う」と答えました。

今後も自宅で働きたいと思うか



出典：働き方・働く環境の変化に関する調査（2021年オカムラ調べ）



- 1.Parabel (バラベル) チェア
- 2.Parabel (バラベル) デスク
- 3.VIVANT (ヴィヴァン) ポット
- 4.OC (オーシー) ポータブルバッテリー
- 5.ホームソファ
- 6.アジャスタブルサイドテーブル
- 7.canteen (キャンティーン)
- 8.Lives Shelf (ライブスシェルフ)



# HOME



## WORK ROOM

仕事に集中するためのプライベートなワークルーム



- 1. Parabel (バラベル) チェア
- 2. Parabel (バラベル) デスク
- 3. VIVANT (ヴィヴァン) カート
- 4. モニタースタンド
- 5. ツールツリー



## WORK SPACE

生活の場と隣り合わせのコンパクトなワークスペース

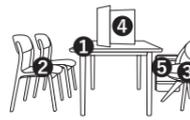


- 1. VIVANT (ヴィヴァン) デスク
- 2. VIVANT (ヴィヴァン) チェア
- 3. VIVANT (ヴィヴァン) カート
- 4. 集中パネル フロアタイプ
- 5. ホームソファ



## WORK SPOT

一時的に働く環境に変わるフレキシブルなワークスポット



- 1. 2.canteen (キャンティーン)
- 3.Parabel (バラベル) チェア
- 4.集中パネル 卓上タイプ
- 5.VIVANT (ヴィヴァン) ポット

# アROUNDプレイス

オフィス以外も使って働く

従来、働く場所は「オフィス」が当たり前でしたが、働き方が多様化しオフィス以外の選択肢が増えつつあります。

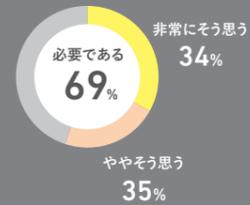
ワーカーがこれらのワークプレイスを目的や必要に応じて選択することで、時間や場所にとられない柔軟な働き方ができるようになります。



## 増加する働く場所の選択肢

コロナ禍での在宅勤務を経験したワーカーにオフィスと自宅以外に働く場所の選択肢は必要か聞いたところ、約7割のワーカーが「そう思う」と答えました。

オフィスと自宅以外に働く場所の選択肢は必要か



出典: WORKMILL RESEARCH ISSUE 02



# AROUND PLACE

## 空港



1. Serica (セリカ)
2. drape (ドレープ)
3. pirouette (ピルエット)

## コワーキングオフィス



1. Shared Space (シェアードスペース)
2. co-comori (ココモリ)
3. nel (ネル)
4. LB79

## シェアオフィス



1. SOLISTE LIBRARY (ソリストライブラリー)
2. Linie (リニエ)
3. CYNARA (シナラ)
4. drape (ドレープ)

## サテライトオフィス

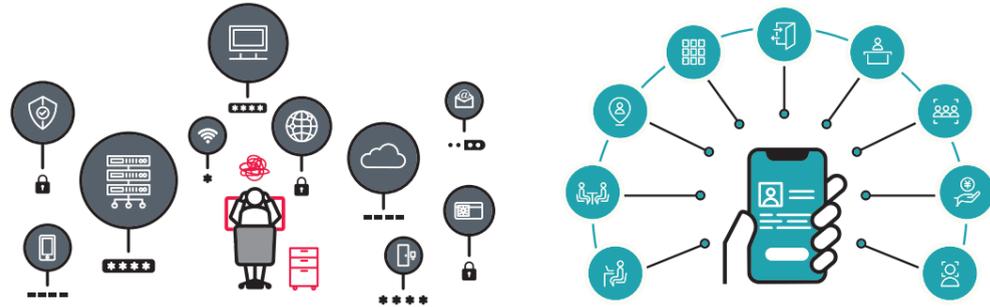


1. Lives Work Table (ライブワークテーブル)
2. Lives Work Chair (ライブワークチェア)

# ひとつのID Work x D

ワーク・バイ・ディー  
powered by workhub

時間や場所にとらわれない柔軟な働き方をデジタルの力でサポートします。センターオフィスや他拠点、アROUNDプレイス、自宅をデジタルにコネクト。包括的にシステムを構築し、ワーカーには、これまでよりも優れた働き方の体験を、施設管理者には、これまでよりも優れたファシリティマネジメントシステムの体験を提供します。



働く環境を取り巻くあれこれを、ひとつのIDとひとつのアプリで



**ホテリング(座席予約)、所在状況表示**  
スマホのアプリケーションでその日出社する席を拠点→ビル→フロア→座席の順に選択し、事前に予約。スマホから操作できるので、通勤途中や拠点に到着してからでも予約が可能です。座席に到着したらチェックインし、所在を登録。チームメンバーの居場所を確認できるようになります。リモート勤務の場合、ステータスを登録して所在を知らせることも可能です。チェックイン情報や入退室情報より在席率を確認、オプションのピーコンでリアルタイム位置情報を表示します。

一人ひとりのワーカーは、分散化で選択肢の広がるワークプレイスを、システムを通じてより自由でスムーズに利用できるようになります。

## 受付システム

ゲストの招待～受付まで、スムーズにサポート



ゲストには入館用のQRコードを事前に配信し、専用タブレットで受付。メールやチャットにてホストに通知します。受付の無人化を実現するだけでなく、会議室の予約と連動することも可能です。効率的な運営システムを構築できます。

## 会議室システム

予約～利用をシンプルに運用を効率化



予定表ツールと連動して会議室を予約。部屋前端末で情報を確認できます。会議室を利用する際にチェックインをしないと予約がキャンセルされる設定にしておけば、空予約の防止にも役立ちます。その場での予約や延長も可能です。

## ロッカー

予約してスマホで解除できる新しいロッカー



スマホから事前に予約して、スマホが鍵になる新しいロッカーです。利用履歴を取得し管理を簡単にします。利用期間の設定もできるので、共有の機器や備品などの予約管理にも利用可能です。

## 入退室管理

顔認証や先進的な入退室システム



顔認証や様々な解錠手段で入退室を制御できます。複数の拠点を統合的に管理したり、サムターン後付けの電池式スマートロックを活用して、簡単な工事で入退室管理連携を実現できます。

# COORDINATE

一人ひとりが作業や目的に合った場所を選び、のびのびと働ける。そんな「はたらき心地」のよい空間には個性あふれ、人間の感性を刺激するようなCMFが求められているとオカムラは考えます。

ここでは空間のテーマを設け、それに合う“素材感”と“空間イメージ”を表現しています。



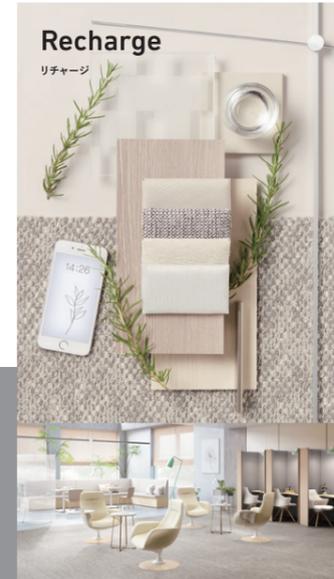
## 遊び心のある開放感

様々な人が集い、情報が活発に行き交うオープンな雰囲気。点在する様々な素材や色彩が、にぎわいのある空間を演出します。



## 親しみのあるリラックス感

自然と会話生まれやすいリラックスした雰囲気。あたたかみのある木の素材感と触り心地の良いファブリックが居心地のよい空間を演出します。



## 凛とした安心感

気持ちを整え、冷静に物事に向きあえる凛とした雰囲気。すっきりとした素材と明るくやわらかな風合いが、凛とした中にも、気持ちやわらぐ空間を演出します。



## 集中しやすい落ち着き感

ひとりでもチームでも、腰を据えてじっくり仕事ができる雰囲気。人工的な素材とあたたかみのある素材との組み合わせがクールすぎない、落ち着きのある空間を演出します。

CMFとはサーフェイス(表面)を構成する3つの要素です。



交流空間 ←

→ 集中空間

はたらく場をより自由に。“はたらき心地”を高めよう。



*Choose your work styles*



Special Site

[www.okamura.co.jp/company/ws202x/](http://www.okamura.co.jp/company/ws202x/)

人を想い、場を創る。

**OKAMURA**

ホームページアドレス <http://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は  
お客様相談室へ

フリー  
ダイヤル **0120-81-9060**  
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

株式会社オカムラ

お問い合わせ・ご相談は、下記へ

2021年11月 発行

ワークプレイス製品部 YONB19-1N1 P.KD '21-11